

「MajorFlowクラウド」、他社ソフトとの連携強化

当社の連結子会社であるパナソニック ネットソリューションズは、経費精算、出勤打刻のクラウドサービス「MajorFlowクラウド」の強化に取り組んでいます。

2014年10月の提供開始以来、他社製ソフトウェアとの連携を強めており、2014年3月には会計ソフト「会計王16」(ソリマチ株式会社)、クラウド型会計ソフト「MFクラウド会計」(株式会社マネーフォワード)、2014年4月にはGPS・地図・スマホ活用ソリューション「GPS Punch!」(レッドフォックス株式会社)、クラウド型会計ソフト「ハイブリッド会計Crew」(株式会社アックスコンサルティング)との連携に対応しました。今後も多くの他社製ソフトウェアに連携対応し、利便性を高めていく予定です。



MajorFlowクラウドのトップ画面

プロトコレーション、自動車関連情報サービスを支える  
複数の基幹業務システムの統合IT基盤を「Oracle Exadata」で刷新

日本オラクル株式会社と当社は、株式会社プロトコレーションへオラクルの高速データベース・マシン「Oracle Exadata Database Machine (以下Oracle Exadata)」を導入しました。「Oracle Exadata」に基幹系のデータベースを集約することで、セキュリティ対策を一元化するとともに、プロトコレーションが今後展開する各種サービスのシステムを迅速に構築できるデータベース基盤が実現しました。

本プロジェクトでは、当社が「Oracle Exadata」を活用したデータベース統合ソリューションを提供し、導入から構築、稼働までを支援しました。

イベント・セミナー予定

東京地区

第6回 教育ITソリューションEXPO  
日時 5月20日(水)~22日(金) 10:00~18:00  
場所 東京ビッグサイト

「PC教室用シンクライアントシステム」などを出展します。

大阪地区

コールセンター/CRMデモ&コンファレンス 2015 in 大阪  
日時 5月27日(水)~28日(木) 10:00~17:30  
場所 マイドームおおさか

「eSmileCall」を出展します。  
詳しくは <http://service.is-c.panasonic.co.jp/event/> をご覧ください!

Move to Delight

Close Up Now

エネルギー管理&海外IT支援  
パナソニックISの新たな一歩



TOPICS

「MajorFlowクラウド」、他社ソフトとの連携強化  
プロトコレーション、自動車関連情報サービスを支える複数の基幹業務システムの統合IT基盤を「Oracle Exadata」で刷新



あいえず☆うちのBOSS

サービスビジネス本部  
IDC運用センター  
グループマネージャー 加藤仁



【社長・前川のちよつと一言】  
新たなステージ×新たな挑戦

大阪で桜の満開宣言がされた4月1日、当社は15名の新入社員とともに新年度をスタートしました。これに先立ち、1月に三洋ITソリューションズから19名のメンバーが当社に加わり、2月には中国を拠点とする松下信息系统(上海)有限公司が当社の子会社になりました。名実ともにこれまでとは違う、新たなステージを迎えるのだと実感しています。

新たに加わったメンバー、新たなメンバーを迎え入れたメンバー、その双方に、「新たなステージへ進む意欲」を私は強く感じています。そこで、今年度の

社内スローガンは「深く掘って未来へつなぐー新たなステージ×新たな挑戦」としました。これは、2013年度に策定の中期経営計画で掲げた「深く掘る」というキーワードを一歩進めたものです。お客さまの事業・経営そのものに貢献するなかで培った力を礎とし、新たなステージで挑戦する、そしてその力を次の未来へとつなげようという話合っています。もちろん、その第一歩は「お客さまの満足を超えた感動」をめざすことであり、これが変わることはありません。常にその実現に向かって、新たな歩みを進めてまいります。



代表取締役社長 前川 一博  
Kazuhiro Maegawa

あいえず☆うちのBOSS

その19  
ボス  
インフラ全般のサポート・運用を担うIDC運用センターで、ツーカーな仲の2人を直撃。ボスはグループマネージャーの加藤仁、紹介してくれるのはグループリーダーの藤本欣成です。

「私の所属部署は、サーバー構築後の調整などといった実際の運用オペレーションを行うグループ。加藤さんには入社当初からお世話になっていて、通算10年ほど一緒に仕事をしています。加藤GMは、自他ともに認める「いじられキャラ」! 新入社員さえも2,3ヵ月と経たずに上司/部下の立場が逆転してしまうそう...!?

「緊張感をほぐしてくれる方ですね。普段はおちゃらけて下からいじっていますが(笑)、頼りになります。穏やかな人柄のおかげで部署が活気付くので、これが仕事をうまく進める秘訣なのかなと思って

います」。  
そう語る彼にこれまでの思い出を尋ねると、入社後初めて任されたプロジェクトでの出来事を教えてくれました。

「ネットワーク担当として参画したのですが、稼働前夜になってもシステムが動かず、万事休すの状態に陥ったんです。もうだめだと加藤さんに連絡したところ、すぐ駆けつけてくれて。瞬時に直してくださった後、自分の業務へ戻っていける姿がとても印象的でした。今でも覚えていますね」。動いて当たり前のインフラですが、それを支えるメンバーの努力は相当なもの。「水道と同じですから」と見せる何気ない笑顔に頼もしさを感じました!



サービスビジネス本部  
IDC運用センター  
グループリーダー  
藤本欣成

運用は地味ですが極めて重要なポジションです。周りの配慮を忘れずお客さまの価値向上と一緒に取り組みましょう!

今号のボス



サービスビジネス本部  
IDC運用センター  
グループマネージャー  
加藤仁

編集後記  
3月の北陸新幹線開通は富山県出身の私にとって一大イベントでした。地元・高岡には新たな駅が開業! 一度帰省しましたが、北陸全体が活気付き、盛り上がっているようでした。2015年度がスタートし、気づけば目の前に迫るゴールデンウィーク。行楽シーズンには、是非北陸へ足を運んでみてくださいね。

発行元  
パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社  
法務部 広報・IRグループ  
〒530-0013 大阪市北区茶屋町19-19 アプローズタワー16F  
TEL 06-6377-0100 FAX 06-6377-0833 <http://is-c.panasonic.co.jp/>  
※本紙掲載記事の無断転載・複製を禁じます。  
※本紙に記載された社名および商品名などは、それぞれ各社の商標または登録商標です。

## エネルギーマネジメント&海外IT支援

# パナソニックISの新たな一歩



1月1日付で三洋ITソリューションズ株式会社のエネルギーマネジメント業務が当社へ移管されました。  
また2月15日には、三洋情報システム(上海)有限公司を当社子会社化。  
同社は松下情報システム(上海)有限公司に社名を変更し、新たな一歩を踏み出しました。  
新しく加わったメンバーとともに、パナソニックISグループが今後どのようなビジネスを進めていくのか。  
詳しくご紹介します。

### ビジネス展開 1

## エネマネ支援事業を拡大

新事業推進グループ 設備連携IT事業担当グループ

パナソニックISは2010年よりエネルギーマネジメントシステム「eneview」を展開していますが、それよりも以前からエネマネ関連事業に取り組んでいたチームが同じパナソニックグループ内に存在しました。それが、このたび当社の新たなメンバーとして加わった、元三洋ITソリューションズのエネルギーマネジメントチームです。  
家庭用燃料電池「エネファーム」が普及する前の実証事業段階からそのシステム開発に携わり、モノとモノをつなぐ、いわゆる「IoT (Internet of Things)」に関するノウハウを蓄積してきました。創造力と確かな技術を兼ね備えた新メンバーとともに、今後もITから新たな価値を生み出し続けます。



### 私たちの強み

境目がない、だから価値を生み出せる。

私たちが初めてエネマネ関連事業を手掛けたのは2006年の頃です。エネファームのシステム開発に、コントローラ基盤の設計段階から携わりました。その後2010年より、店舗・建物の設備機器を遠隔監視するシステムの開発を始め、現在も機能拡充を続けています。  
私たちの強みは、機器と機器をつなげるためのノウハウと、つなげた後に分析するためのノウハウを持っていることです。エネファームのシステム開発でも、各家庭の電気やお湯の使用パターンを学習

する「需要予測機能」を実装していました。そしてITベンダーでありながら、コントローラのような制御装置の知識にも長けていることです。IT、設備機器、エネルギーのどれかひとつだけを相手にするのではなく、全てを境目なしに取り扱うことができます。これは、パナソニックグループ内で設備機器メーカーと私たちITベンダーが一体となって事業を進めているからこそだとも思っています。  
近頃IoTというキーワードが注目されていますが、私たちのこれまでの取り組みは、振り返ってみると

まさにこのIoTでした。私はIoTを「ITで集めたデータを価値ある情報に変えるビジネス」だと捉えています。今後もこうした事業に注力し、設備機器を使う現場のお客さまへ付加価値をもたらしていきたいと考えています。



新事業推進グループ  
設備連携IT事業担当グループ  
グループリーダー  
杉田 栄

### ビジネス展開 2

## 海外IT支援を強化

松下情報システム(上海)有限公司  
(パナソニック インフォメーションシステムズ上海有限公司)



パナソニックISでは、中国、アジア、欧州、北米などへ展開するパナソニックグループのグローバルビジネスをITで支えてきました。例えば、海外40拠点以上にERPを導入し、世界共通のSCMを構築しています。  
このたび子会社となったパナソニック インフォメーションシステムズ上海は、当社初の海外子会社。10年以上の歴史の中で、三洋電機グループ向けITソリューションを手掛けてきた企業です。  
ITスキル・業務スキルに優れ、日本語能力にも長けたパナソニック インフォメーションシステムズ上海のメンバーとともに、今後もグローバルなIT支援を強力に推し進めます。

### 私たちの強み

日本の企業文化を熟知した人材が強み。

当社は2004年7月に、三洋電機の中国拠点向けITサービス提供及びオフショア開発会社として上海に設立しました。2009年5月に三洋電機の基幹系システムをオフショア運用するため、無錫支社を設立。そして2015年2月にパナソニックISの子会社となりました。  
当社では、ソリューション、ITサービス、運用保守、オフショア開発の4つの事業を展開しています。注力する分野は生産現場と営業現場。中国の関連企業をはじめ、北米、東南アジア及び

日本へ、MES(製造実行システム)を展開しています。  
また、販売代理店さま向け受発注管理システムは1350店舗以上の導入実績を誇ります。中国の先進IT技術とリソースを活用して、中国におけるパナソニックグループのビジネス拡大を全面サポートしています。  
当社の強みはまず、日本企業の文化を熟知する人材。設計・開発から導入・運用までのワンストップサービスによるコスト競争力。そして、セキュリティ、

業務知識、サービス意識など、さまざまな観点から取り組んでいる徹底した品質保持体制です。  
パナソニックISと当社のシナジー効果を発揮して、グローバルにITサービスを提供できるよう、全社一丸となって精一杯努めてまいります。



松下情報システム(上海)有限公司  
(パナソニック インフォメーションシステムズ上海有限公司)  
総経理  
陳 煥奇